

2023年7月24日

横須賀市長 上地克明 様

日本共産党市議団
大村 洋子
井坂 直
ふじその あき

米海軍基地のPFAS流出に関する原因究明を
引き続き求めることを強く要望します

7月10日防衛省南関東防衛局より本市に対して昨年12月に行った米海軍基地への立入りの際のサンプリング結果の報告がありました。また、同日、在日米海軍司令官と市長がテレビ会議を実施し同様の内容のやりとりがありました。

テレビ会議の中で在日米海軍司令官は原因究明についてとして

「・排水処理施設内の目視点検や施設内の消火設備の点検

・関係者への聞き取り等の調査

・排水処理施設の入口・出口やフィルターの前後におけるサンプリングといった措置を実施してきているが、排水処理施設は極めて大規模な横須賀海軍施設の全ての排水を処理しているため、原因を特定することは困難であると考えている。しかしながら、排水処理施設内の汚泥を今後も定期的に除去・処分し、引き続き、排水処理施設を適切に管理するとともに、再発防止及び施設の安全管理に努めたいと考えている。」と述べています。

これは事実上の原因究明の放棄であります。このような姿勢はとうてい認められるはずはありません。昨年10月4日横須賀市議会は全会一致で「横須賀海軍施設における排水処理施設からのPFOS等含む排水への早期対応を求める決議」を可決しています。この中では当然原因究明を求めています。なぜ、このようなことが生じたのか、根本原因を市民にしっかりと説明、報告することが必要です。したがって、私たちは以下のことを求めます。

記

引き続き国と米海軍横須賀基地に対してPFAS流出に対して今まで以上に強く原因究明を求めてください。

以上